

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 36  
「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

## ○名鉄ウォーク

### 三度笠松へ！

おいでいただく方に、わが町笠松は心の落ち着く温かい町だと感じてもらいたい。そんな思いで、今年も名鉄ウォーク実行委員会

員会が組織され、おもてなしの心で準備が進められた。「道徳のまち笠松推進会議」は、気持よくウォーキングを楽しんでいただけるよう、今年もコース沿いのゴミを拾うことにした。

## ○草を刈り、通りやすい道に

笠松みなど公園から名鉄線のガードをくぐり、競馬場の南側へ向かう坂道は路肩の草が茂って道にかぶさり、草も生え、道幅が狭くなり、歩きにくい状況であった。まずは通りやすい道にしなくてはならないと、ゴミ拾いの前々日に機械を使って草刈りをした。

## 名鉄ウォークもてなしの心で きれいに！

この道は本町への近道で、作業している間も通行される方があった。さぞや、今まで歩きにくかったのではと感じた。

## ○ゴミ拾い！



十月二十四日(日)早朝、呼びかけに応え、笠松みなど公園には、町民の方や岐阜女子大の学生さん、「道徳のまち笠松」関係者など十七名が集まった。公園から競馬場の南側道路沿いに進み、ゴミを拾って歩く。草むらに不法投棄されたゴミもある。拾ったゴミは袋につめ道端に寄せる。それを軽自動車で集める。車は、またたく間にいっぱいになった。競馬場東の金刀比羅神社周辺では、投棄されたゴミが特に多く、ここだけで軽自動車一台分にもなった。約二時間ほどで競馬場を一周し作業を終えた。

## ○育む心

きれいなコースで気持ちよいウォークを楽しんでもらえると期待していたが、名鉄ウォークは、台風のため中止になった。やむを得ない。しかし、競馬場周辺のゴミを拾う姿は、ゴミを見 overs せず拾う心をアピールすることができた。自ら行動し、みんなと一緒に取り組む心も育まれた。この姿と心が一人でも多くの人の心に届けば、参加者の大きな喜びである。



オレンジ色のスタッフTシャツ姿で競馬場南堤防道路沿いのゴミを拾う